



NEWS RELEASE

2026.10.28

親子で学ぶ「食」と「農」！ 日本最適化栄養食協会が親子の「収穫&工場見学バスツアー」をサポート

一般社団法人 日本最適化栄養食協会（理事長：伊藤 裕、以下 当協会）は、2026 年 10 月 10 日（土）に公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団（以下 安藤財団）が主催し、公益財団法人 日本財団（以下 日本財団）の助成のもと実施された「収穫&工場見学日帰りバスツアー」において、食育・食体験プログラムの企画・運営サポートを行いました。

安藤財団主催、日本財団助成で行われた支援事業をサポート！ イオンアグリ創造 埼玉日高農場での収穫体験を実施



ミニロメインレタスを持ってポーズ！



参加者が収穫体験をする様子

今回のバスツアーは、安藤財団が日本財団の助成を受けた上で、同財団と連携して実施した「子どもを対象とした食育・食体験プログラム」の一環として、埼玉県日高市の「イオンアグリ創造 埼玉日高農場」および同県北本市の「グリコピアイースト」で実施されました。子どもたちへ豊かな思い出と学びを届け、「食」と「体験」の格差解消を目指した取り組みです。

当日は、事前応募に当選した親子が参加しました。「イオンアグリ創造 埼玉日高農場」では、子どもたちが畑に入り、ミニロメインレタスを収穫しました。農場スタッフから野菜の育ち方や収穫のコツを教わりながら、土の感触を確かめつつ丁寧に収穫し、普段口にする野菜がどのように作られているのかを体感しました。みずみずしい野菜に直接触れた子どもたちからは「切り口がみずみずしい」「収穫が楽しい」との声が上がり、自分で収穫したミニロメインレタスに加え、お土産として用意されたサニーレタスも各家庭へ持ち帰られました。昼食後は「グリコピアイースト」にも立ち寄りお菓子の製造工程を見学しました。当協会からは参加者に向けて“最適化栄養食”に関する説明を行うとともに、お土産として“最適化栄養食”の詰め合わせセットを協賛。農業体験を中心に、食への知的好奇心を深める充実した 1 日となりました。

当協会は、今後も関係団体と連携し、“最適化栄養食”の普及推進や、子どもの食や栄養課題解決のサポートに努めてまいります。



■「一般社団法人 日本最適化栄養食協会」について

1. 目的

年齢や性別、生活習慣など、一人ひとりの状態に合わせて主要な栄養素がバランスよく適切に調整された食を通じ、人々のウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること）に資することを目的として、次の事業を行う。

2. 事業内容

- (1) “最適化栄養食” 及びその評価に関する規格化
- (2) “最適化栄養食” の栄養設計基準登録、製品認証
- (3) “最適化栄養食” に関する調査研究
- (4) “最適化栄養食” の普及に関する活動
- (5) 前各号に掲げるもののほか、当協会の目的を達成するために必要な事業

■“最適化栄養食” とは

“最適化栄養食” とは、年齢や性別、生活習慣など、一人ひとりの状態に合わせて主要な栄養素がバランスよく適切に調整されていて、ターゲットとする対象者における健康に与える影響がヒト試験などで検証された食です。日本最適化栄養食協会では“最適化栄養食” の栄養設計を登録し、製品認証を行ってきました。2023 年 7 月に初めて“最適化栄養食” の認証がされて以来、認証製品累計出荷数は 5400 万食を突破^{*1} しました。

■“最適化栄養食” 認証マークについて

“最適化栄養食” 認証マークは、当協会に登録された栄養設計基準を過不足なく満たすことのできた製品にのみ付与されます。



■「一般社団法人 日本最適化栄養食協会」ウェブサイト

[URL] <https://www.saiteki-eiyo.org>

*1 2023 年 7 月 3 日～2026 年 3 月 31 日の「最適化栄養食協会認証製品」の累計出荷数から算出（当協会調べ）

このリリースに関するお問い合わせ先

「一般社団法人 日本最適化栄養食協会」
東京都渋谷区千駄ヶ谷三丁目 50 番 11 号
contact@saiteki-eiyo.org